



校訓

**強い心 強い体**

玉造中学校だより No. 5  
令和3年7月20日 発行

在籍:男144: 女:145 計289名

## 【写真で振り返る行事】

### 【7月 2日 研究授業が行われました】



### 【7月 7日 イングリッシュプレゼンテーションフォーラム】



### 【7月16日 第1回 学校評議員会】



### 【新生徒会の活動開始 あいさつ運動 テーマ発表】



## 【自立貢献 一人一人の成長を感じた1学期でした】

### 1学期終業式のあいさつ

- 今日で1学期が終わります。今学期のはじめに皆さんは、気持ちを新たにして自分の目標を立てたと思います。個人はもちろん、学級、部活動で、この1年間で、こんな自分になりたい、こんなチームになりたい、こんなクラスにしたいと成長した自分の姿を思い描いて立てた目標…それらはどれも輝いていたはずです。その輝きは、今でも衰えてはいませんか。
- ここまで1学期間を過ごしてきて、その目標はどのくらいまで達成できたのでしょうか。
- 今年度の学校教育目標「自立貢献」の説明と共に、今年度のキーワードとして「磨き合い 響き合い 高め合う笑顔あふれる学校づくり」について話をしました。コロナ禍にあって制限のある生活が今でも続いています。今年ならではのやり方や工夫で、チャンスを生かし、挑戦し、みんなで伸びいく姿…普段の生活の様子、授業や部活動、行事への取り組みでたくさん見ることができて、本当に頼もしかったです。
- 例えば、体育祭。実行委員や団長を中心に時間を重ねるごとに団結する姿を、当日の競技や応援はもちろん、準備から後片付けの様子からもたくさん見ることができました。生徒が中心となって作る体育祭…「自立と貢献」の姿を3年生が見せてくれました。2年生や1年生にしっかりと受け継がれたと思います。
- 例えば、県東地区総合体育大会での頑張り。県大会出場という形で結果が出たところと、残念ながら一歩及ばずのところとそれぞれの部活動で結果こそは違いますが、一人一人の記憶に残る頑張りがあったと思います。特に、女子ソフトテニス部の個人戦の、決勝戦を玉中どうして戦う姿には、心奪われました。それは、一球を打ち返すごとに、その先のステージの県・関東・全国で戦う姿を想像できる試合だったからです。
- 自分のできる精一杯の力を出そうと最後まであきらめずに挑む姿を間近で応援できて本当にうれしかったです。
- このあと学級で担任の先生から一人ずつ通知表を渡されると思います。数字の評定や評価は気になりますよね。所見には、皆さんのがんばる姿や一人一人の良さを、先生達が心を込め、時間をかけて選んだことばが書いてあります。そこに込められた思いをしっかりと受け止めることができれば、2学期はさらに1段上のレベルで力を発揮できると思います。
- 明日から長い夏休みが始まります。コンクールを控えている吹奏楽部や県大会に出場する女子ソフトテニス部、男子卓球部、女子ハンドボール部の活躍に期待しています。
- そして、3年生…この夏休みが自分の進路や夢の実現に繋がっていることを忘れずにいてください。受験に向かうための準備や挑戦、頑張りにも期待しています。
- 1・2年生にとっては、新チームになった部活動で力を蓄える時期です。後悔しない夏休みになることを期待しています。
- 最後に生徒の皆さんへ大切なお願いがあります。それは「かけがえのないたった1つの命を大切にしてほしい」ということです。感染症予防対策や熱中症対策はもちろんですが、交通事故や水の事故には、十分に注意して生活をしてください。そして、例え、どんなことがあっても自分の命を自分で絶つということが絶対にないようにしてください。皆さんの周りには、皆さんのことを大切に思っている家族や友だち、先生方がたくさんいることをわすれないでください。
- 2学期の始業式に、一回りも二回りも大きく成長した皆さん全員と、この玉中でまた会えることを心から願っています。

### 保護者の皆様へ

1学期間、本校の教育活動や取組に関しましてご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。生徒たちの健やかな成長を支えるために、職員一同、全力で取り組んでまいります。夏季休業中、2学期も引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

